

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	剪定枝資源化施設運営事業			会計	款	項	目	大	小	
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター					
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人					
					01	04	02	03	07	01

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	搬入された剪定枝から作られる堆肥を利用する市民	意図	剪定枝資源化施設の円滑な管理運営及び安全性を確保する。
事業内容	市内で発生する剪定枝から堆肥等をつくり、熟成した堆肥を市民に頒布することにより緑のリサイクルを進め循環型社会の形成に資する。			
事業開始から現在までの状況変化	グリーンチェーン戦略の一環として緑のリサイクルを目指し、これまで焼却処分していた剪定枝を「エコ堆肥」やチップにリサイクルをしていたが、東京電力福島第一原子力発電所事故により、堆肥の材料となる剪定枝に含まれる放射性物質の濃度が通常より高い数値であるため、製造・販売を中止している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	堆肥等の原料として搬入される剪定枝の量	0	0	0	
②	エコ堆肥の販売量	0	0	0	t	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						剪定枝資源化施設における破砕機の処理能力が、約3 t/日に対し、剪定枝の搬入量が、それ以上となっている。
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	19,496,593	16,762,566	19,328,180				
事業費(b)(円)	9,580,593	7,532,566	11,497,180				
うち一般財源	9,580,593	7,532,566	11,497,180				
職員給与と費(c)(円)	9,916,000	9,230,000	7,831,000				
人役・職員(人)	1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)	1.00	1.00					
人役・臨職(人)			1.00				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	放射能問題でエコ堆肥の製造・販売を中止しているが、施設の保全に努めた。	③取組の課題	森のエコ堆肥の製造・販売が再開したときに備え、機器の保全に努める。
②今年度(H29)に実施した取組	剪定枝資源化施設の破砕機を稼働し、搬入される剪定枝の減容化を図った。	④今後(H30以降)の改善計画	機器の保全に努めるとともに、再開後に備え、処理能力以上の剪定枝の保管管理について研究する。